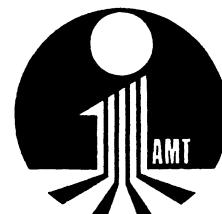


会報 いわて



第26回岩手県医学検査学会

業務支援（タスク・シフト・シェア）について考える
～求められる臨床検査、私たちにできること～



2023年
12月1日（金）～12月22日（金）
Web開催（オンデマンド形式）

学 会 長

高橋 一博

（岩手県立中央病院）



主催：一般社団法人 岩手県臨床衛生検査技師会
担当：北部地区技師会

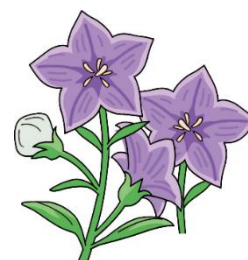
学会ホームページ公開中です。

岩臨技 HP のトップページバナーとリンクしております。

一般演題募集も始まっていますので、よろしくお願いいたします。

参加登録開始：2023年10月1日（日）～

演題募集締め切り：2023年10月20日（金）



充実した学会になるよう、みなさまのご協力をお願いいたします。

(い わ て)

令和5年度第1回理事・部門長会議議事録

日 時：令和5年7月10日（土曜日）9:00～10:00

場 所：岩手医大内丸メディカルセンター会議室およびWEB開催

出席者：高橋一博、千葉寛、小野寺奈緒、千葉由紀、塩越真由美、畠山秀樹、熊谷正邦、中沢和浩、三浦采香、熊谷公代、朝岡千佳子、新沼美穂子、畠山和枝、千葉拓也、佐々木まゆみ、下川波歩、佐藤昂、川村将史、舘野幸枝、浅沼匡介、鈴木知子、藤倉由規、染谷俊裕、山本将規、千枝貴幸、

欠 席：肥田野靖史、山根修一

1. 会長挨拶(高橋会長)

今年度は昨年度とメンバーも変わっているので確認しながら進めていきたい。

2. 理事・部門長自己紹介

3. 日臨技からの連絡事項(畠山日臨技理事)

6月24日雅叙園で総会があり無事終了した。日本臨床衛生検査技師会創立70周年、法人化60周年記念式典において菊池英岳氏、行森良一氏が厚生労働大臣表彰を受賞された。

理事会で「議事は問題なく承認された。詳細はサイトを確認すること。

4. 議事

● 日臨技総会投票率について

投票率は56.8%で目標の67%には少し足りなかった。投票率に合わせてお金がもらえる。67%で一人当たり70円。

(高橋会長)電磁決済で投票しやすいので各所属で声かけを。

● 今後の活動計画について

➤ 定款の確認(高橋会長)

- ①公衆衛生の向上及び啓もうに関すること
 - ②学術的な研究、調査及び研修に関すること
 - ③会員の相互親睦に関すること
 - ④その他本会の目的を達成するために必要なこと
- 詳細は岩臨技ホームページを確認すること

➤ タスク・シフト/シェアについて(千葉副会長)

実技講習申請済み	53名
座学履修済み	14名
座学履修中	40名
受入れ可	7名(7/8時点)

(い わ て)

予定通り 7 月から募集地域を北日本支部に拡大した。
前回、未納者がいたため、早めの入金を促す。
(高橋会長)8/10 入金締切りになっているが確認の都合で早めをお願いしたい。

➤ 安比リレーマラソンについて(川村常務理事)

日程：9 月 10 日

各病院にメールで参加者を募る。

BBQ があるが各病院の対応はどうか。

(千葉寛)マスク着用、人数制限、黙食で可。

(千葉) 医大は 4 名以下、同一部署半分以下であれば可。

(川村)感染対策を徹底して BBQ も参加する。

(千葉寛)メールと web で募集するので掲載案の雛型をお願いしたい。

➤ 検査と健康展について(川村常務理事)

日程：11 月 12 日(日)開催予定

場所：矢巾町活動交流センター「やはばーく」

活動内容：子供に親しみを持ってもらうためエコーを使った文字当てを考えている。

エコー器機は手配済み

➤ 各地区活動について

北部地区(熊谷理事)：「第 26 回医学検査学会」メインテーマが決定した。

オンデマンド形式。事務手続きを理事に確認中。

北部なので参加人数は昨年に比べ少ないことが予想される。

特別講演 3 題予定している。現在交渉中。

配信期間は 12 月 1 日～22 日

盛岡地区(川村常務理事)：研修会を開催した。Web 開催。32 都道府県 83 名の参加。

今後の予定はこれから決める。

中部地区(鈴木理事)：研修会について学術的なもので進めたほうがいいのか。

テーブルマナー、会食や制作はどうか。

(高橋会長)会員の親睦に関することとなっているので作ったり食べたりでもよいが助成金は難しい。学術的なことをやった後にティラピスやヨガを行った例がある

(小野寺副会長)学術的な内容も絡めて企画すれば、助成金申請も可能だと思うので、企画したら学術部(小野寺)に相談してもらえれば回答する。

南部地区(中沢理事)：総会に向けて準備を進めている段階。活動についてはこれから。

(い わ て)

三陸地区(新沼理事)：総会は紙面決済で終了した。今年度の活動については募集中。
Web 研修のテーマを提示してもらえるか。

(千葉理事)血ガスが人気だった。盛岡地区はシーメンスに依頼した。他の
メーカーに依頼してみてもどうか。サイボウズでアイデアを
募集する方法もある。

- **北日本医学検査学会について(高橋会長)**

11月4.5日福島市にて開催。演題募集は7月14日まで。各県10題の割り当てになっている。中央病院は臨床検体を使用しても症例検討の場合は臨床研究に当たらない解釈。臨床研究の場合は倫理委員会の審査が必要。臨床研究には個別の同意が必要。施設により対応が異なると思われる。

(医大・千葉理事)学会で倫理委員会を通す縛りがなければ必要ない。北日本学会は生理部門で1題。検体は包括同意なので許可が出れば良い。(中央)検体検査で1題、(市立病院)未対応、(予防協会)特に動きはない、(南部地区)未、(胆沢)未、(北部)未

- **部門研修会の申請について(畠山日臨技理事)**

Web 研修会のフローを作成した(資料参照)。岩臨技主催の場合はこれに従って申請する。共催の場合は事前受付「あり」と「なし」の場合も考慮すべき。メーカー研修会の在り方については協議が必要。

日臨技共催・協賛・後援に関する内規に沿って申請が必要

共催の場合：部門長が生涯教育担当に参加を知らせる(専門20点)

後援の場合：参加者の自己申告(専門10点)

(高橋会長)内規については資料参照。詳細は学術に相談いただきたい。個別に対応する。

(小野寺副会長)助成金は2月末日までに会計報告が終了していないと不可。(資料参照)

研修会開催にあたって生涯教育担当者が1週間前と前日にメールを送っていたが、今後研修会が増えることが予想される。事前登録されている研修会について学術部門長に作業を移行したい。アクセス権は部門長に与えられている。日臨技にアクセスし「学術メニュー→メニューガイダンス」から使い方を出力できるので確認すること。

助成金に関して：1事業当たり3万円。年間20事業まで申請できる。認可された事業には参加者1名当たり500円(40名まで)の助成もあり、計5万円の助成が受けられる。

主催の場合は各部門長が予算書を作成し、副会長から日臨技へ申請。

共催の事前に学術に相談。

後援の場合の助成金の申請は不可。助成金無しの申請を作成。

フローは千葉副会長が作成する。

岩臨技のホームページは周知に利用可能。

- **岩臨技部門会議等の日当・交通費について(下川事務局長) 資料参照**

(日臨技に決算報告が必要とされる研修会等については)日臨技規定に従い弁当代はなしとする。

(い わ て)

- **事務局移転の進捗状況について(下川事務局長)**

月 10 万円程度の家賃で中央病院と医大の間くらいの立地で探しているがコピー機の設置など難航している。引き続き物件を探す。
- **役員推薦について(高橋会長)**

検査室の人数が減り、役員を出すことができない施設が出てきている。県立病院技師会では 5 地区から役員推薦委員を選出し、推薦方式で役員を決めている。
定款により事務局は盛岡地区に置くことになっているが、ほかの理事は制限を受けない。かつて岩臨技の推薦委員があった。順番性にしても良いのでは。継続審査。
- **その他**
 - **輸血細胞治療部門より精度管理調査事業での実務者への日当について確認…資料参照**
 - **会計部長変更について…会計部長を佐々木まゆみ氏、ホームページを浅沼匡介氏とする。**
 - **HP 業務のため格安 SIM の契約について(浅沼)**

職場や自宅以外で作業や確認が必要な場合があることから SIM を契約したい。
→1000 円～2000 円程度の SIM を岩臨技で契約する。
サイボウズの掲示板にホームページに記載したい記事を載せると埋もれてしまう可能性がある。ホームページ記載用のフォルダがあったほうがいい。
→(高橋会長) 事務局で契約する方向で試験的に進める。
 - **Zoom の予約状況をサイボウズの会議機能で確認できるようにしたい(千葉副会長)**

(下川事務局長) 会議室 1 : zoom アカウント 1、会議室 2 : zoom アカウント 2 に設定変更する。
(小野寺副会長) スケジュール機能で日臨技や県病研修会の予定も共有したい。
 - **Zoom のアカウントを 500 で契約できないか(畠山部門長)**

他県では 1 アカウント 500 になっている。精度管理報告会は 100 アカウントを超えることが予想される。
(下川事務局長) 100 万円くらいは使用できる。
(高橋会長) 本来、北日本部門研修会は岩臨技と会計が異なるが、事情を考慮し、北日本生理機能部門研修会でも使用する方向で、今年度ウェビナーの 8 月更新時 500 で契約する。
 - **精度管理担当より(千葉理事)**

岩臨技精度管理予定 : 9 月中旬参加案内・10 月申込・11 月上旬 : 試料発送・1 月結果公開
3 月に行っていた報告会は会計の都合以上、2 月上旬に行うこととする。

(い わ て)

➤ 学術担当より（小野寺副会長）

研修会のフローについては適宜修正していきたいので、変更等があれば連絡がほしい。
支部研修会の運用ガイドンスおよび各種様式が改訂されているので日臨技ホームページを確認すること。

➤ 会員の退会は岩臨技の事務局で把握しているか。名簿は作成可能か(中沢理事)

会員は岩臨技では把握していないが日臨技の事務局メニューで会員名を確認できる。
アクセス権を与えれば各地区の会長も把握できるが取り扱いには注意が必要。
名簿は個人情報につながるなので作成しないので必要時アクセスしてほしい。

➤ ホームページの役員一覧が古くなっているので新しいものをアップしてほしい(館野部門長)

事務局で対応する。

第2回タスク・シフト/シェアに関する厚生労働省指定講習会

実技講習会が終了しました

- 開催日：2023/08/20（日）
- 開始時刻：09:30
- 終了時刻：17:30
- 場所：岩手県立中央病院 大ホール他

タスク・シフト/シェアに関する
厚生労働大臣指定講習会

タスク・シフト/シェアは臨床検査技師の手で



令和5年8月20日開催実技研修風景 撮影：実務責任者 千葉

(い わ て)

タスクシフト・シェアに関する厚生労働大臣指定実技講習を受講して

県立江刺病院 鈴木知子

第2回タスクシフト・シェア実技講習会が令和5年8月20日(日)県立中央病院を会場に開催されました。法改正に伴い業務拡大として追加された10行為の内容は、基礎研修を終えた時点でとても難易度が高く感じられ、はたして私が臨床の場で安全に実践できるのだろうか?という不安と少しの期待を胸に実習に臨みました。実習ごとの感想(つぶやきですが)を報告させていただきます。

- ・ 静脈路確保：スムーズに穿刺ができれば、あとは手技を覚えていればなんとか…
あれ?手が交差する。
- ・ 造影剤注入：三方活栓の方向を指差確認、よし!と言ってしまふ。
- ・ 持続皮下グルコース：講師の先生のように丁寧でわかりやすい説明を心がけよう!
- ・ 喀痰吸引：カニューレ挿入、実際には体動があるからこんなに簡単には入らないだろうなあ。
採取の苦労を実感する。
- ・ 直腸肛門機能検査：「閉めてください」のかけ声とともに、自分にも力が入る。
- ・ 生検鉗子を用いて消化管組織検体採取：小さい組織を見失わないこと。

タスクシフト・シェアの目的は医師の労働時間短縮や看護師の負担軽減とされています。検査して報告するという一部の業務だけではなく、説明や採取段階からの広範囲(全部)の過程を知ることがタスクシフト・シェアを推進するうえでとても重要だと感じました。検体採取に関する法律が一部改正され、その数年後には通常業務として採取に従事していることを考えると、今回実習した追加行為も数年後には、当たり前のように実践し活躍の場を広げている状況が想像できます。受講を迷っている方は、従事の有無にかかわらず知識・視野を広げる意味でも講習の準備を進めてはいかがでしょうか。

実務委員やサポートに携わってくださる方々には、打ち合わせや前日からの会場準備、当日の進行や指導などお世話になりました。円滑な講習会の運営に感謝いたします。



県立胆沢病院川内瑠寿さんが地元紙の取材を受けました

岩臨技に胆江日日新聞社から取材依頼がありました。文化面の中で「たんこう職業ガイド」という仕事紹介コーナーが連載されており、地域で働く人々の姿を通して、郷土愛の醸成と自分の生き方を見つめ直すきっかけとなることを願うもの、全年齢向けの記事です。特に仕事に対して夢を描きつつある小中高生に向けて発信したいと記載されています。依頼は胆江地区に勤務する方で情熱を持って仕事をされている方、年齢と性別は問いませんとありました。このことを踏まえ、胆沢病院 川内瑠寿（かわうち るうじゅ）さんの記事が実現しました。（会長 高橋）



(2023.7.25 胆江日日新聞 紙面より)

(い わ て)

医療関連サービス実地調査に参加した菊池監事より報告いただきました

医療関連サービス実地調査に参加して

県立胆沢病院 菊池英岳

7月28日（金）、福島県いわき市の江東微研東北中央研究所に実地調査員として調査に参加してきました。今回は福島、秋田、岩手からそれぞれ1人の参加でした。作業の流れは、前回と同様チェックシートに基づき、聞き取り・書類の確認・現場確認を手分けしながら行いました。今回調査した検査センターは日中回収した検体を夜に検査をするところだったので、わたしたちが訪れた日中はほとんど人がいなくて機械も稼働しておらず静かで広い空間に驚かされました。立地も郊外の工業団地の一角にあり病院の検査室とは違い大型の分析器が数台連結されてシステム化されていました。現場を見て感じたことは、廊下に丸出しのシャワーが設置されていて聞いたところ毒物劇物を誤って被曝した際直ぐに対処できるようにとのことでした。非常時に対する危機感がしっかりしている印象でした。書類もきちんと管理整理整頓されており効率よく調査を終えることができました。帰りは郡山を経由せず、あえて常磐線経由で帰ってきました。原発事故の影響を受けた浪江町、双葉町沿線を車窓から見ると家がありますが生活感を感じられず、雑草や木々に覆いかぶさられている家や、荒れ果てた田畑が無造作に放置されていました。暗くなり街灯や車のライトは見えましたが、家の灯りが見えないところもたくさんあり、人を寄せ付けない原発事故の怖さを真に受けさせられました。いわきの人口は東北では仙台に次いで多いところと聞きましたが、原発事故の影響を受け減少して、街自体も将来を見いだせない状況であることが車窓からも伺えた調査でもありました。



(い わ て)

岩手県沿岸 DVT 検診活動再開！

2023年9月3日（日）に大槌町 安渡分館・避難ホールにて岩手県沿岸 DVT 検診を行いました。この活動は東日本大震災直後から被災地で実施しているエコノミークラス症候群予防検診です。コロナ禍で中断していましたが、検診活動の再開に伴い、岩臨技でも臨床検査技師の募集を行いました。今回は県内外からは11名の会員に参加して頂きました。

今年度の DVT 検診では、問診、パセーサによる血圧・動脈硬化検査、下腿の下肢静脈超音波検査を行っています（医師による結果説明もあります）。

今回は初の試みとして技師向けのミニセミナーを開催し、以前から DVT 検診をサポートしてくれている西沢氏（シミックソリューションズ株式会社）からヘルスケアに関するお話を聞きました。検診の合間でのセミナーとなったため、立ち見スタイルではありましたが、とても有意義な時間になりました。

当日までに被災者から数件の問い合わせもあり、コロナ禍で中断しても影響はなかったようです。しかし、高齢化により交通手段がないなど今後の悩みとして話されていたことが心に残りました。

この検診では、ヘルスケアを担うスタッフの育成にも力を入れています。コロナ禍前は、特に下肢超音波検査においてベテランから未経験者までたくさんの臨床検査技師や診療放射線技師が参加し、施設や地域を越えて一緒に検査を行って来ました。今回も下肢超音波検査未経験者2名が参加し、ベテラン技師からレクチャーを受けています。ベテラン技師と一緒に受診者の検査を行いながら、一生懸命メモを取っている姿がとても印象的でした。

下肢超音波検査初心者の方！やっているけど自信がない方！

DVT 検診に参加して、県内外のベテラン技師からレクチャーを受けてみませんか？

もちろん、超音波検査未経験も大歓迎です！

指導してくれるベテラン技師も大歓迎です！

なんか楽しそうだから参加してみようかなという方も大歓迎です！

10月14日（土）に陸前高田市で DVT 検診を行います。

興味のある方はぜひご参加ください！！

総合管理部門 小野寺 奈緒



(い わ て)



“つなぐ”

今回の『つなぐ』は岩手県立中央病院の林 稜太さんです



今回、岩手医科大学附属病院の五内川有希さんから引き継ぎました、県立中央病院の林稜太と申します。五内川さんは大学の時の1つ上の先輩で、大学時代は生理検査の実習等、色々とお世話になりました。今後の学会や研修会でお会いできたらなと思っております。

私の「つなぐ」のテーマですが、趣味のソフトテニスと、地元である北海道のおすすめスポット2カ所について書こうと思います。

趣味は小学1年生くらいから大学卒業まで続けていたソフトテニスです。硬式も考えていたのですが学校に部活が無かったので軟式を選択しました。調べたところ、明治から始まった日本発祥のスポーツで中学校の部活動の人口は1位で割と経験したことのある人は多いようです。ダブルスがメインなのでペアとのコンビネーションで点を取る事や相手との駆け引き、インパクトの感触等が面白さの一つだと思います。社会人になってからの3年間で体重が増えてしまっているので、ダイエットがてらまた始めようか迷っています。

北海道でおすすめしたい場所の1つめは、千歳の支笏湖です。札幌から車で40分くらいの所にあり、例年1月下旬から2月下旬まで氷濤まつりが開催されています。支笏湖の湖水をスプリングクレーで凍らせてできた氷像や氷のオブジェが並んでいて、夜はライトアップもされ照らされた氷がとても幻想的です。小学生の頃、よく連れて行ってもらっていたのですが最近はいけていないので機会を見つけて行きたいと思っています。

2つめは小樽です。札幌市の北西にある湾岸都市で、昔は北のウォール街と呼ばれていたらしいのですが、今も町並みは明治や大正の趣を残しています。最近ではガラス工芸やオルゴールが有名です。今年のGWに帰省した際に小樽運河と境町通りを見に行きました。夕暮れ時になると、ガス灯が灯り石像倉庫群を照らしていてとても綺麗でした。海鮮丼やあんかけ焼きそばも美味しかったです。北海道に来る機会がありましたらぜひ検討してみてください。

次回は県立二戸病院の原子穂乃花さんにつなぎたいと思います。私の前任地の病院の1つ後輩でとても頼りになる後輩です!今回はお忙しい中引き受けていただきありがとうございます。

よろしくお願いします!



研修会情報

【岩臨技主催研修会】

2023 年度 DVT 検診

開催日 2023 年 10 月 14 日 (土)

会場 陸前高田市 (陸前高田コミュニティーホール)

お知らせ

【北日本支部研修会】

令和 5 年度日臨技北日本支部「臨床検査総合部門研修会」

開催日 2023 年 10 月 14 日 (土) ~ 15 日 (日)

会場 フォレスト仙台

テーマ「ジェネラルな臨床検査技師になろう」

お知らせ



公益事業部からのお知らせ

お知らせ

公益事業で参加予定だった、「あっぴりレーマラソン大会 2023」への参加を新型コロナウイルス感染症再拡大のため、参加を見送りました。

来年は参加できるよう、トレーニングを続けましょう。



(い わ て)

第14回日本医療マネジメント学会岩手支部 学術集会に
岩臨技として後援（名義使用）をすることになりました。

お知らせ

第14回日本医療マネジメント学会岩手支部学術集会

開催年月日

令和5年9月30日（土）9：00～16：30

会場 岩手県立中央病院 大ホール

盛岡市上田 1-4-1 電話 019-653-1151

学術集会長 加藤 章信（盛岡市立病院長）

参加される会員の方は自己申告による生涯教育点数の申請が可能です。

日臨技生涯教育研修制度ガイドラインに基づき

【様式1-2】使用

基礎教科 コード番号：6

名称：管理運営

点数：10点

提出先は日臨技となります。

～編集後記～

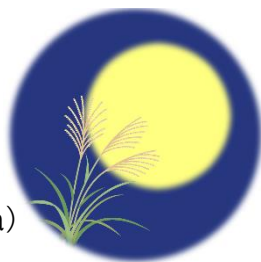
厳しい暑さとスコールのような激しい雨に地球大丈夫か?!と思ってしまう夏でしたが、ここ最近、夜になると涼しい風が吹いてきてようやく秋の訪れを感じます。

そろそろ新米の季節です。旬のものを美味しくいただき来年のあっぴりレーマラソン大会に備えましょう(笑)

今年度から担当させていただけます。

よろしくお願いいたします。

(kuma)



会報「いわて」第343号 2023.9

一般社団法人岩手県臨床衛生検査技師会

発行人：

会 長：高橋 一博

事 務 局：下川 波歩

編集責任者：熊谷 公代

藤倉 由規

〒020-8505 盛岡市内丸19-1 岩手医大中検内

Tel. (019)613-6111 内線 3699 Fax. (019)654-8510

<http://www.iwateamt.or.jp/>

会報専用メールアドレス：

kaiho@iwateamt.or.jp